

資料配付の場所：
国土交通記者会
国土交通省建設専門紙記者会
国土交通省交通運輸記者会等
平成16年9月24日同時配布

連絡先：

国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部沿岸防災研究室 小田、熊谷
電話:046-844-5024 (内線 3222) FAX:046-844-5068
独立行政法人 港湾空港技術研究所 企画管理部企画課 清水
電話:046-844-5040 (内線 5140) FAX:046-844-5072

「台風16・18号による港湾施設等への被災に関する総合調査」の実施について
台風の様相の変化と港湾施設等への影響の究明に着手

平成16年9月24日
国土交通省国土技術政策総合研究所
独立行政法人 港湾空港技術研究所

1. 目的

台風16号及び台風18号による高波により、全国的に、多くの防波堤等の港湾施設、海岸護岸などが被災を受けるとともに、高潮による浸水により人的被害も発生した。

ここ数年の台風の状況を見ると、大型化、発生場所の高緯度化、上陸後も強い勢力を持ったまま通過するなど台風の様相に変化がみられる。特に、今回の台風16号、台風18号では観測が開始されて以降最大の高潮潮位が観測されたとともに、港湾空港技術研究所が一元管理している全国港湾海洋波浪情報網(NOWPHAS)では留萌港、高知港、志布志港において既往最大波高を越える波浪も観測(現在精査中)された。

総合調査は、これら台風の様相の変化と、それが及ぼす港湾施設や海岸施設等への影響を究明し、今後の台風災害の軽減に資することを目的として、実施するものである。

2. 被災状況

全国の約500の港湾施設等において被害を受けていることが判明した。主な被害状況は以下のとおり。

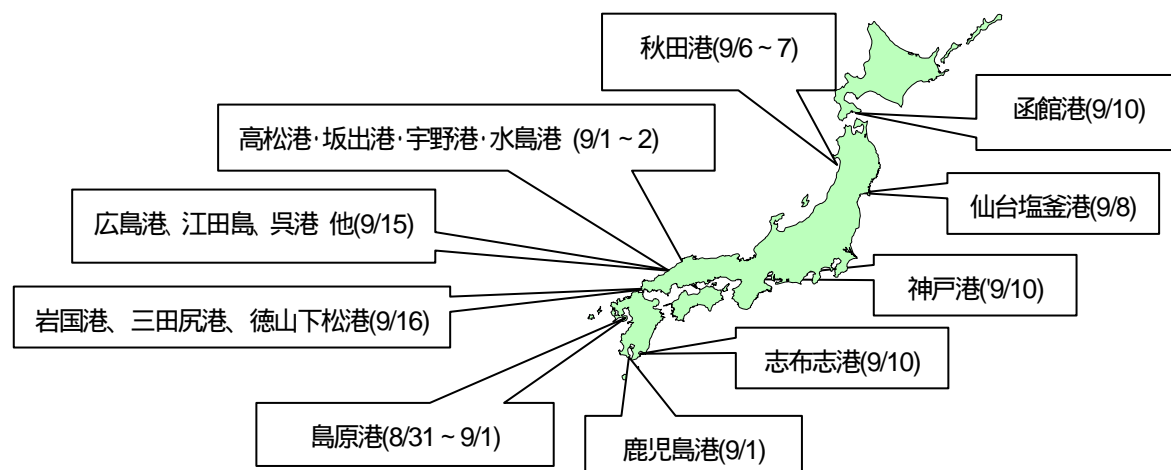
神戸港：台風16号の高波により六甲アイランド南地区の護岸の一部が約1,500mに渡り損壊

函館港：台風18号の高波により島防波堤ケーソンが約370mに渡り滑動・転倒、水没

高潮被害：台風16号、18号の高潮(16号では、高松港、宇野港等で観測開始以来最も高い潮位を観測。)により香川県、岡山県、広島県などで大規模な浸水被害

3. これまでの活動状況

台風通過後すみやかに被災状況の情報収集等のため現地調査団を派遣し、今回の台風による被災の第一次調査を8月31日～9月16日にかけて21港で延べ53人日実施した。派遣先は次のとおり。





現地調査の状況（高潮による浸水の痕跡調査：高松市福岡町）

4. 今後の予定

独立行政法人港湾空港技術研究所は高波、高潮等に関する現象の詳細な把握と被災原因の究明を中心に、国土技術政策総合研究所は高波、高潮等による被災の軽減対策を中心に、両研究所が連携して調査・研究を実施し、年度内を目途に成果のとりまとめを行う予定。具体的な調査・研究の内容は以下の通り。

今回の被災特性の分析【(独)港空研】

- ・全国の港湾・海岸保全施設の被災状況のとりまとめによる台風災害の特性の分析

波浪・高潮特性の分析【(独)港空研】

- ・30年間の全国波浪データ(NOWPHAS)に基づく、台風の変化と高波・高潮の発生状況との関係の分析

被災メカニズムの詳細な検証【(独)港空研】

- ・高精度高潮数値シミュレーション及び浅海域波浪シミュレーションを用いた高潮・高波の再現と、現地のデータとの比較による被災メカニズムの詳細な検証

台風災害に対する防災施策の検討

- ・港湾施設、海岸保全施設等の安定性能の再評価と再発防止策の検討【(独)港空研】
- ・高波、高潮などに対する港湾施設、海岸保全施設等の設計条件の設定に関する検討

【国総研】

- ・地方公共団体等との連携による減災対策（高潮ハザードマップ作成、情報伝達手法等）に関する検討【国総研】

成果は、調査結果がまとまり次第、独立行政法人港湾空港技術研究所ホームページ(<http://www.pari.go.jp>)、国土技術政策総合研究所ホームページ(<http://www.nilim.go.jp>)等に掲載予定。

(参 考) 被災状況写真

函館港島防波堤 (台風18号の高波により被災)



被災前の状況



被災後の状況

台風16号による高潮被害
岡山県玉野市



出典：岡山県ホームページ

香川県高松市



出典：高松市ホームページ

ナウファス (全国港湾海洋波浪情報網 : NOWPHAS : Nationwide Ocean Wave information network for Ports and Harbours) は、国土交通省港湾局、各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、国土技術総合政策研究所および独立行政法人港湾空港技術研究所の相互協力のもとに構築・運営されている我が国沿岸の波浪情報網です。

台風16号・18号で既往最大有義波高が観測された地点 (現在精査中)

高知港	8月30日 20:00 の観測値	波高 10.18m (これまでの既往最大 7.08m)
志布志港	8月30日 8:00 の観測値	波高 9.03m (" 8.30m)
留萌港	9月8日 14:00 の観測値	波高 7.83m (" 7.33m)